

第3学年*組 国語科学習指導案

指導者 内田 美智子
場所 3年*組教室

1 単元 慣用句を使ってみよう

2 単元の見通し

- 慣用句に関心を持ち、意味などを調べて、生活の中で使おうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 慣用句について知り、意味や使い方を理解するとともに、自分の表現において使うことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1) 教材について

本単元の重要指導事項は、小学校学習指導要領の第3学年及び4学年「伝国」(1)ア(イ)「長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと」である。

慣用句は、二つ以上の語が結びついて、ある特定の意味を表すようになった言い回しで、比喩的な表現が多く、それらの意味は固定化しており、現代でも生きてきた表現として使われている。児童は、「慣用句」という語は知らなくてもこれまでの学習や生活の中で慣用句に触れてきている。

本単元では、慣用句の意味を辞典等で調べたり、慣用句を使う具体的な場面を想定して短文を書いたりする活動を通して、慣用句に関心を持ち、児童の言語生活の中に適切に生かせるようにしたい。

(2) 児童の実態(*人)

○タブレットを使った学習は楽しいですか。		
はい…*名	ふつう…*名	いいえ…*名
○次の慣用句を知っていますか。		
「馬が合う」		
・意味が分かる…*名	・聞いたことはある…*名	・知らない…*名
「ネコのひたい」		
・意味が分かる…*名	・聞いたことはある…*名	・知らない…*名
「頭をひねる」		
・意味が分かる…*名	・聞いたことはある…*名	・知らない…*名

タブレットを使っての学習は、始めたばかりなので興味・関心は高く、進んで取り組み、操作方法のみ込みも早い。一人1台が理想だが、機器の不具合や個々の技能、操作速度の違いが大きいことなどから、今のところ班に1台もしくは二人で1台で使用している。

児童は慣用句という言葉は知らなくても、生活の中で聞いたことのある慣用句もある。しかし、意味まで分かっている児童は少なく、生活の中で使えてはいない。

(3) 指導に当たって

古くから伝わる言い回しの便利さやおもしろさを感じている児童は少ない。そこで、指導に当たっては、たくさんの慣用句を調べた後、タブレットを使って班で協力して慣用句クイズを作ったり問題に答えたりする活動を通して、慣用句の便利さやおもしろさを感じ、日常生活の中で使えるようにする。

本時は、各自が様々な慣用句を調べた後、体に関する慣用句に絞り、班ごとにタブレットの授業支援ソフト(オクリンク)を使って、「慣用句の意味」、「写真や絵」、「使い方(短文)」など、慣用句を説明するカードを協力して作成し発表する活動を通して、楽しみながら慣用句の使い方に関心させる。この時、書き込みの順番や時間などの約束ごとを伝え、協力して取り組めるように促していく。

4 指導と評価の計画

(1) 学習活動における具体的評価規準

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・技能
・慣用句に関心を持ち、意味などを調べて進んで使おうとしている。	・慣用句について知り、意味や使い方を理解するとともに、自分の表現において使っている。

(2) 具体的な計画(4時間扱い) ○は本時

時	主な学習内容	関意態	知理技
1	慣用句について知り、学習の見通しをもつ。	○	
2	慣用句を集め、意味を辞典で調べる。		○
3	慣用句の使い方を考えて短文を作り、慣用句シートにまとめる。		○
④	班ごとに気に入った慣用句について、意味や使い方などを4枚のカードにまとめ発表する。	○	

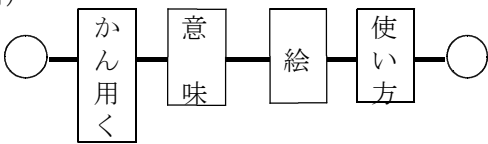
5 本時の学習

(1) 目標

○タブレットを使って、慣用句について分かりやすく説明するカードを作り発表することで、慣用句についての興味・関心を高めることができる。

(2) 準備 タブレット（各班1台）、テレビ、教師用タブレット

(3) 展開

学習内容及び児童の活動・反応	教師の支援・配慮事項及び評価
<p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お気に入りの「かん用く」を、はんで分かりやすくつたえよう。</p> </div> <p>○体に関する慣用句の中から、各班でみんなに伝えたい慣用句を決める。</p> <p>○オクリンクでカードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣用句 ・慣用句の意味 ・写真や絵 ・使い方（短文） <p>(例)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>○先生機に提出する。</p>	<p>教師の支援・配慮事項及び評価</p> <p>◎テーマ「自分の考えを書き、伝え合う活動」「タブレットの効果的な活用」に迫る手立て</p> <p>○慣用句について確認する。</p> <p>○今日の学習は、前時に作った慣用句シートを参考に、体に関する慣用句一つをオクリンクでカードを作って発表することを知らせる。</p> <p>○同じ慣用句にならないように、「口に関する句」、「目に関する句」など、テーマを班ごとに決めておく。</p> <p>○分かりやすくするために、慣用句シートを写真で撮って付け加えたり、体の一部を写真で撮ったり、本の挿絵などを写真で取り込んだりするとよいことを伝える。</p> <p>○短文については、使い方が合っているかどうかを確認してアドバイスをする。</p> <p>◎分かりやすい発表ができるように、カードの順番や説明の仕方を、発表例を参考に班で話し合う。</p> <p>○発表の仕方の例を提示し、クイズ形式にするなど工夫してもよいことを伝える。</p>
<p>3 各班の作った慣用句を発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(発表例)</p> <p>①私たちのお気に入りの慣用句は、○○です。意味は○○です。絵で表すところになります。使い方は○○です。</p> <p>②私たちのお気に入りの慣用句を当ててください。意味は○○です。絵で表すところになります。分かる人はいますか？正解は○○です。</p> </div> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>○学習の振り返りを行う。</p> <p>○次時の学習内容を知る</p>	<p><評価> 慣用句に関心をもち、意味や使い方などを調べて進んで使おうとしている。(関心・意欲・態度 タブレット・行動観察)</p> <p>◎各班の作ったカードを先生機からテレビに映し、作ったカードをスライドさせながら発表する。</p> <p>○発表では、班の人の役割を決めさせておき、スムーズに発表できるように支援する。</p> <p>○発表時のタブレット操作については、様子を見ながら支援する。</p> <p>○今日の学習の感想や、覚えた慣用句について振り返る。</p>